

清水 稔先生 略年譜・著作目録

【略年譜】

- | | |
|-----------------------|--|
| 1945 (昭和20) 年 1 月 1 日 | 岐阜市において父清水久茂・母こう (一男二女) の長男として生まれる。 |
| 1950 (昭和25) 年 4 月 1 日 | 岐阜幼稚園 (学校法人本願寺学園) に入園する。 |
| 1951 (昭和26) 年 3 月26日 | 同上を卒園する。 |
| 1952 (昭和26) 年 4 月 1 日 | 岐阜市立金華小学校に入学する。〔金華小学校は2008年3月学区の再編に伴う統廃合で閉校となり、岐阜市立岐阜小学校となる〕 |
| 1957 (昭和32) 年 3 月25日 | 同上を卒業する。〔校長鷺見臣一郎、6年担任教諭西村君子〕 |
| 同年 4 月 1 日 | 岐阜市立伊奈波中学に入学する。〔2012年3月小学校の学区変更に伴う中学校の再編で統廃合されて閉校となり、岐阜市立岐阜中央中学校となる〕 |
| 1960 (昭和35) 年 3 月10日 | 同上を卒業する。〔校長松田充、3年担任教諭今村秋枝〕 |
| 同年 4 月 1 日 | 岐阜県立岐阜高等学校普通科に入学する。 |
| 1963 (昭和38) 年 3 月 1 日 | 同上を卒業する。〔校長米谷暎一、3年担任教諭飯尾誠太郎〕 |
| 同年 4 月 1 日 | 名古屋大学文学部に入学し、教養部に学ぶ。 |
| 1965 (昭和40) 年 4 月 1 日 | 名古屋大学文学部史学科東洋史学専攻に進学する。 |
| 1967 (昭和42) 年 3 月25日 | 同上を卒業する (文学士)。
卒業論文：康有為の教育改革について
〔学長篠原卯吉、文学部長松村博司、東洋史学講座主任教授宇都宮清吉、指導教授波多野善大〕 |
| 同年 4 月 1 日 | 名古屋大学大学院文学研究科修士課程史学地理学専攻 (東洋史学) に入学する。 |
| 1970 (昭和45) 年 3 月25日 | 同上を修了する (文学修士)。
修士論文：萍瀏醴起義について
〔学長芦田淳、大学院文学研究科長山下龍二、東洋史学講座主任教授兼指導教授波多野善大〕 |
| 同年 4 月 1 日 | 名古屋大学大学院文学研究科博士課程史学地理学専攻 (東洋史学) に入学する。 |

- 1973（昭和48）年 3月31日 同上を単位取得により満期退学する。
- 同年 4月1日 名古屋大学文学部研究員となる。〈1975年3月31日まで〉
- 1975（昭和50）年 4月1日 名古屋大学助手（文学部東洋史学講座）に任じられる。〔学長
芦田淳、文学部長北村忠雄、東洋史学講座主任教授谷川道雄〕
- 同年 10月31日 岐阜大学教育学部講師に併任される。〔学長林金雄〕〈1977年3
月31日まで〉
- 1977（昭和52）年 3月31日 名古屋大学助手を退官する。
- 同年 4月1日 佛教大学専任講師（文学部史学科東洋史）に任じられる。〔学
長藤原了然、文学部長坪井俊映、史学科主任水野恭一郎〕
- 1983（昭和58）年 4月1日 佛教大学助教授（文学部史学科東洋史）に任じられる。〔学長
水谷幸正、文学部長藤堂恭俊、史学科主任佐藤長〕
- 1984（昭和59）年 4月1日 佛教大学（学長水谷幸正）と華中師範学院（院長劉若曾、現華中
師範大学、武漢市武昌）との学術交流協定に基づき、在外研究
員として華中師範学院および同付設の辛亥革命史研究室（指導
教授章開沅）における研修を命じられる。同時に交換研究員と
して趙軍氏（現千葉商科大学教授）が来学し研修を行う。〔学
長水谷幸正、文学部長藤堂恭俊、史学科主任米田賢次郎〕
- 1985（昭和60）年 4月10日 華中師範学院における研修を終えて帰国する。
- 1986（昭和61）年 4月1日 佛教大学文学部史学科の事務主任を委嘱される。〔学長水谷幸
正、文学部長伊藤唯真、史学科主任平祐史〕
- 1990（平成3）年 3月31日 史学科事務主任の任を解かれる。
- 1991（平成4）年 4月1日 佛教大学教授（文学部史学科東洋史）に任じられる。〔学長伊
藤唯真、文学部長高橋弘次、史学科主任岩見宏〕
- 同年 10月1日 佛教大学総合研究所主任研究員（兼担研究員）を委嘱され、
「アジアのなかの日本」班を主宰する。〔学長伊藤唯真、総合
研究所長梶山雄一〕
- 1994（平成6）年 3月31日 総合研究所主任研究員の任を解かれる。
- 同年 4月1日 総合研究所嘱託研究員を委嘱される。〔学長高橋弘次、総合研
究所長梶山雄一〕
- 同年 4月1日 佛教大学大学院文学研究科東洋史学専攻主任を委嘱される。
〔学長高橋弘次、文学研究科長吉田富夫、史学科主任杉本憲
司〕
- 1995（平成7）年 3月31日 総合研究所嘱託研究員の任を解かれる。
- 1997（平成9）年 3月31日 大学院文学研究科東洋史学専攻主任の任を解かれる。

同年	4月1日	佛教大学最初の学部長公選により、文学部長を命じられ、大学院文学研究科長を委嘱される。〔学長高橋弘次、史学科主任竹下喜久男〕
2001 (平成13) 年	3月31日	文学部長・大学院文学研究科長の任を解かれる。
同年	4月1日	佛教大学副学長および通信教育部長の兼務を命じられる。〔学長中井真孝、文学部長並川孝儀、史学科主任原田敬一〕
2003 (平成15) 年	3月31日	通信教育部長の兼務を解かれる。
同年	4月1日	佛教大学互助会幹事を命じられる。〔学長中井真孝〕〈2006年3月31日まで〉
同上		コンソーシアム京都運営委員会委員を委嘱される。〔理事長八田英一〕〈2006年3月31日まで〉
2004 (平成16) 年	4月1日	文学部の学科改組により、文学部人文学科に配置換えとなり、アジア史コースを担当する。〔学長中井真孝、文学部長並川孝儀、人文学科長上野辰義〕
同年	4月20日	大学基準協会相互評価委員会全学評価分科会委員を委嘱される。〔会長清成忠男〕〈2005年3月31日まで〉
2005 (平成17) 年	3月31日	副学長の任を解かれる。
同年	4月1日	佛教大学副学長を命じられる。〔学長福原隆善、文学部長原田敬一、人文学科長上野辰義〕
2006 (平成18) 年	3月31日	副学長の任を解かれる。
同年	4月1日	佛教大学教授法開発室員を委嘱される。〔学長福原隆善〕
2007 (平成19) 年	4月1日	佛教大学国際交流センター長を命じられる。〔学長福原隆善〕
同年	5月1日	佛教大学国際交流研修室長の兼務を委嘱される。〔学長福原隆善〕
2008 (平成20) 年	3月31日	国際交流センター長・国際交流室長・教授法開発室員の任を解かれる。
同年	4月1日	国内研修（一般研修・在宅、1年間）を命じられる。〔学長福原隆善、文学部長原田敬一、人文学科長今堀太逸〕
2009 (平成21) 年	4月1日	佛教大学副学長およびキャリア開発室長・教員免許状更新講習室長の兼務を命じられる。〔学長山極伸之、文学部長中原健二、人文学科長今堀太逸〕
2010 (平成22) 年	4月1日	文学部の学部改組により、歴史学部歴史学科に配置換えとなる。〔学長山極伸之、歴史学部長渡邊忠司〕
同年	4月20日	大学基準協会大学評価委員会大学評価分科会主査を委嘱される。

		〔会長納谷廣美〕〈2011年3月31日まで〉
	同年 11月1日	佛教教育学園評議員を委嘱される。〔理事長水谷幸正〕
2011（平成23）年	3月31日	キャリア開発室長・免許状更新講習室長の兼務を解かれる。
	同年 4月1日	佛教大学四条センター所長、GP推進室長の兼務を命じられる。 〔学長山極伸之〕
2012（平成24）年	3月31日	四条センター所長・GP推進室長の兼務を解かれる。
	同年 4月1日	佛教大学入学機構長の兼務を命じられる。〔学長山極伸之〕
	同年 11月1日	佛教教育学園理事を委嘱される。〔理事長中井真孝〕
2013（平成25）年	3月31日	入学機構長の兼務を解かれる。
	同年 4月1日	佛教大学互助会幹事を命じられる。〔学長山極伸之〕〈2014年3月31日まで〉
2014（平成26）年	3月31日	副学長の任を解かれる。
	同年	佛教教育学園理事・評議員の任を解かれる。
2015（平成27）年	3月31日（予定）	定年により歴史学部教授（歴史学科）の職を退く。

【非常勤講師歴】

愛知大学教養部（名古屋学舎）非常勤講師	歴史学講義担当	1974年4月～76年3月
		1977年4月～83年3月
京都大学人文科学研究所非常勤講師（研究班班員）		1982年4月～83年3月
立命館大学文学部非常勤講師	東洋史特殊講義・講読担当	1982年4月～84年3月
		1995年4月～97年3月
		2002年4月～04年3月
		2006年4月～08年3月
名古屋学院大学大学院外国語学研究科		
	中国語学専攻非常勤講師	中国歴史研究講義担当
		1998年4月～00年3月
		2007年4月～08年3月
立命館大学大学院文学研究科		
	東洋史学専攻非常勤講師	東アジア国際関係史担当
		2005年4月～06年3月

【研究班歴】

京都大学人文科学研究所		
	五四運動研究班（班長島田虔次・竹内実・狭間直樹）	1974年4月～78年3月
	民国初期の文化と社会班（班長狭間直樹）	1978年4月～83年3月

国民革命の研究班 (班長狭間直樹)	1983年4月～88年3月
1920年代の中国班 (班長狭間直樹)	1988年4月～93年3月
中国近代の都市と農村班 (班長森時彦)	1993年4月～98年3月
佛教大学総合研究所	
アジアのなかの日本班 (主任清水稔)	1991年10月～94年3月

【著作目録】(編著書・論説・研究ノート・書評等：刊行年順)

共進会おぼえがき—辛亥革命前における湖南の革命運動について (研究ノート)	名古屋大学大学院文学研究科『院生論集』創刊号、1971年3月26日
萍瀏醴起義について (修士論文要旨)	同上
萍瀏醴における革命蜂起について—洪江會を中心として	『東洋史研究』第29巻第4号 (東洋史研究会)、1971年3月31日
長沙米騒動と民衆—辛亥革命前夜の湖南における民衆運動の典型として	『名古屋大学東洋史研究報告』創刊号、1972年11月15日
辛亥革命研究に関する覚え書き—特に「変革の主体」をめぐる研究動向 (研究ノート)	『名古屋大学東洋史研究報告』第2号、1973年12月15日
湖南における辛亥革命の一断面について—會党と立憲派を中心として	『東方学』第47輯 (東方学会)、1974年1月1日
辛亥革命前の湖南における革命運動—共進会と焦達峯	『歴史の理論と教育』第38号 (名古屋歴史科学研究会)、1976年4月20日
貴州における辛亥革命—哥老会と革命派の出会い	『名古屋大学東洋史研究報告』第4号、1976年11月1日
捻軍の叛乱について	『名古屋大学文学部研究論集 LXXI』史学第24号、1977年3月31日
譚嗣同の政治思想に関する一考察—民にして学あらば国亡ぶと雖も亦た可なり (譚嗣同)	『内田吟風博士頌寿記念 東洋史論集』(同朋舎)、1978年8月10日
批評・紹介 辛亥革命史研究 (中村義著)	『東洋史研究』第38巻第4号 (東洋史研究会)、1980年3月31日
湖南立憲派の形成過程について	『名古屋大学東洋史研究報告』第6号、1980年8月1日
書評 中村義『辛亥革命史研究』	『史学雑誌』第90編第4号 (史学会)、1981年4月20日
湖南における辛亥革命と民衆運動について (大会報告：日文)	辛亥革命70周年記念東京国際学術会議『報告集』、1981年10月21～23日
The 1911 Revolution in Hunan and the Popular Movement (大会報告：英文)	同上

- 楊毓麟の政治思想について 『鷹陵史学』第8号（佛教大学歴史研究所）、1982年2月27日
- 学問の燈心 中国の近代を考える 『鷹陵』第93号（佛教大学通信教育部）、1982年5月1日
- 1981年の歴史学界一回顧と展望—東アジア 中国近代 『史学雑誌』第91編第5号（史学会）、1982年5月20日
- 現代中国における辛亥革命研究(5)“檔案”の整理・刊行すすむ—盛宣懷、閻錫山、徳王に新たな照明 『東亜』第185号（霞山会）、1892年12月1日
- 檔案整理・出版工作的新進展（翻訳） 『国外辛亥革命研究動態』第1輯（華中師範学院辛亥革命史研究室等、武漢）、1983年6月《前掲『東亜』第185号所収論考の翻訳》
- The 1911 Revolution in Hunan and the Popular Movement The 1911 Revolution in China、University of Tokyo Press、1984年8月
- 評中村義先生的《辛亥革命史研究》（翻訳） 『国外辛亥革命研究動態』第3輯（華中師範学院辛亥革命史研究室等、武漢）、1984年8月《前掲『史学雑誌』第90編第4号所収書評の翻訳》
- 檔案の整理・刊行すすむ 『中国歴史学の新しい波—辛亥革命研究について』（霞山会）、1985年2月20日
- 専門セミナー 〈中国近現代史研究〉研究の素材を求めて—アヘン戦争と明治維新 『鷹陵』第111号（佛教大学通信教育部）、1986年11月1日
- 書評 義和団民衆の躍動を活写する：小林一美著『義和団戦争と明治国家』 『東方』第73号（東方書店）、1987年4月5日
- 王曉秋：近代における中日文化交流について（里見信也・劉建強との共訳） 『鷹陵史学』第13号（佛教大学歴史研究所）、1987年10月30日
- 辛亥革命期から国民革命期における中国の政治・経済構造について（報告） 『三島海雲記念財団第24回事業報告書』、1987年11月15日
- 革命と反革命—辛亥革命を中心として 『鷹陵史学』第15号（佛教大学歴史研究所）、1989年9月30日
- 湖南革命派の形成過程について 佛教大学『人文学論集』第23号、1989年12月15日
- 中国と日本の近代—近代中国の日本理解をめぐって 『佛教大学大学院研究紀要』第18号、1990年3月14日
- 康有為の変法に関する一考察 『佛教大学研究紀要』第74号、1990年3月14日

- 五四運動の思想的前提と湖南一虚偽の偶像を破壊せよ (陳独秀)
『鷹陵史学』第16号 (佛教大学歴史研究所)、1990年7月31日
- 東洋史概説 (教科書、岩見宏との共編著)
佛教大学通信教育部、1990年9月25日、編集および第7章～第10章
- 1910年～20年代の中国の社会構造—とくに両湖を中心として (平成2年度科学研究費補助金成果報告)
同朋舎印刷、1991年3月14日
- 湖南五四運動小史
京都大学人文科学研究所共同研究報告『五四運動の研究』第5函第16冊 (同朋舎)、1991年1月20日
- 文学社小論 (研究ノート)
佛教大学『文学部論集』第77号、1992年12月16日
- 解説 辛亥革命
『国際ニュース事典—外国新聞に見る日本』第4巻 (1906—1915 本編 上)、毎日コミュニケーションズ、1993年9月24日
- 五四運動の諸前提—とくに湖南を中心として
『鷹陵史学』第19号 (岩見宏先生古稀記念号、鷹陵史学会)、1994年3月12日
- 近代日中関係史の一断面—21か条要求をめぐって
『佛教大学総合研究所紀要』創刊号、1994年3月14日
- 中国人留学生と日本の近代
〈佛教大学総合研究所紀要第2号別冊〉『アジアのなかの日本』、1995年3月14日
- 湖南への社会主義思想伝播に関する一考察
『佛教大学総合研究所紀要』第3号、1996年3月14日
- 東アジアの村落と家族〈シンポジウムの記録〉 (編・共著)
佛教大学総合研究所、1996年8月25日、編集およびはしがきと末成報告のコメント
- 湖南における反袁闘争の一側面について
『佛教大学総合研究所紀要』第5号、1998年3月25日
- 波多野善大 (遺稿集)『近代中国の人物群像—パーソナリティ研究』 (坂野良吉との共編著)
汲古書院 (汲古選書25)、1999年11月、編集およびあとがきと解題
- 東洋史特殊研究Ⅲ〈辛亥革命期の政治・社会・文化構造について〉 (教科書)
佛教大学通信教育部、1999年2月5日
- 1920年代における湖南政治史の一断面について—湖南近代史像の検討にむけて
『鷹陵史学』第28号 (杉本憲司先生古稀記念号、鷹陵史学会)、2002年9月30日

パーソナリティ研究序説―曾国藩の事例を通して	佛教大学『文学部論集』第87号、2003年 3月1日
清末の湖南留日学生の動向について	佛教大学『文学部論集』第88号、2004年 3月1日
人権―中国における人権思想のとらえ方について	佛教大学『ひとのみち―人権学習 記録 と資料（2003年版）』（人権教育委員 会）、2004年3月31日
歴史学におけるパーソナリティー論―曾国藩の場 合	『学生史学』（佛教大学学生歴史学研 究会）第1号、2004年5月20日
近代中国とマルクス主義との出会いについて―と くに辛亥革命前後を中心として	佛教大学『文学部論集』第92号、2008年 3月1日
外来文化の受容の歴史から見た日本の外国語学習 と教育について	佛教大学『文学部論集』第94号、2010年 3月1日
Japanese English Education and Learning: A History of Adapting Foreign Culture	Educational Perspectives: Journal of the College of Education / Univer- sity of Hawai'i at Manoa, Vol- ume43 Numbers1&2、2010年8月
辛亥革命の実像と虚像	『歴史を学ぶ歴史に学ぶ―歴史学への招 待』（佛教大学歴史学部）、2011年5 月1日
譚嗣同小論	佛教大学『歴史学部論集』第4号（中井 真孝先生古稀記念号）、2014年3月 1日

【研究報告・講演等】

湖南における辛亥革命と民衆運動	辛亥革命70周年記念東京国際学術会議、 1981年10月22日
日本和湖南省	華中師範学院、1984年6月20日
論湖南的辛亥革命与民衆運動	湖北大学、1985年3月5日
日本研究辛亥革命史概況	南京大学、1985年3月22日
大学における研究と教育―外国の教育と研究：中 国の場合	佛教大学教員研修会、1985年9月2日
中国での研修を終えて―中国近代史研究の現状	佛教大学史友会第3回学術大会、1986年 1月19日
中国人のみた明治維新と日本の近代	日本短波放送、1987年1月3日
辛亥革命をめぐる国際関係	東海歴史談話会（名古屋）、1991年10月 12日

末成道夫「中国の家族と村」の報告のコメンテーター	佛教大学総合研究所第4回シンポジウム 〈東アジアにおける家族と村落〉、 1993年10月16日
アカデミズの高揚—総合研究所の研究班活動をふまえて	佛教大学教員研修会、1994年9月14日
授業計画・授業改善の進め方（コーディネーター）	大学コンソーシアム京都「1998年度第4回FDフォーラム」第2分科会、 1998年12月12日
「大学院重点化」の現実と展望—人文社会系大学院（中規模校）が抱える諸課題	IDE（民主教育協会）近畿支部 第21回研究会（京都）、2001年5月26日
日本と中国の文化交流—とくに漢字の受容をめぐって	歴史を学ぶ集い（岐阜）、2001年6月23日
翻訳文化の違いについて	〈検証〉日中関係の諸問題（名古屋）、 2001年8月26日
アジアの将来—とくに中国を中心として	経済懇談会（札幌）、2001年11月17日
近代日本と中国—留日学生を中心として	〈シンポジウム〉東アジアを考える（長野）、2002年2月20日
日本と中国の近代における西洋文化の受容について	歴史講座（岡山）、2002年2月24日
近代の呼称をめぐって—外来文化の受容に関連して	歴史サークルG例会（岐阜）、2003年9月25日
佛教大学がかわります—高等教育の未来と佛教大学（コメンテーター）	佛教大学学部学科再編記念シンポジウム（京都）、2003年10月17日
ちがいと違いを知る—学びを楽しく豊かにするために	佛教大学学友会「夏の祭典」（京都）、 2004年8月7日
近代日本における西洋文化の受容について—翻訳の背景と日本漢語の創造	鷹陵同窓会沖縄支部総会（那覇）、2005年3月19日
対談 人は、何のために学ぶ 加藤周一&清水稔	『佛大通信』2006年1月号の編集にむけての対談（京都）、2005年11月11日
日本人と異国文化	鷹陵同窓会福岡支部総会（福岡）、2006年2月19日
漢字と言葉を楽しむ—漢字と言葉と文化	同窓会沖縄支部総会（那覇）、2006年7月15日
本学における教授法開発室をめぐる諸問題の提起	佛教大学教員研修会、2006年9月20日
日中文化交流の足跡	歴史散歩の会（尾道）、2006年9月30日
中国の革命家と九州	史談会（福岡）、2007年2月23日

対馬と朝鮮半島の文化	日韓交流史研究会（対馬）、2007年7月21日
歴史から見た中国の将来	史友会（広島）、2007年11月18日
近代中国と日本の文化交流の一側面について	ユニセフ岐阜長良支部総会（岐阜）、2008年4月23日
近代中国における革命と民衆	第45回近代思想史研究会（大阪）、2008年12月6日
近代中国の国家と民衆	第46回近代思想史研究会（大阪）、2009年1月11日
近代中国における外来思想の受容をめぐって	鷹陵史学会第18回研究大会（京都）、2009年9月26日
FDを推進・支援するトップマネジメントの役割	大学コンソーシアム京都「2009年度第15回FDフォーラム」第3ミニシンポジウム、2010年3月7日
五四運動前夜の民衆と国家について	第57回近代思想史研究会（大阪）、2010年11月20日
近代日本の文化の源流と中国—漢学・蘭学と和製漢語を通して	浄土宗伊勢教区講習会（伊勢）、2011年9月1～2日
史学科から歴史学部へ	佛教大学ホームカミングデー学部企画（歴史学部）、2012年11月3日
歴史の虚像と実像—研究をふりかえって	佛教大学最終講義、2015年1月22日

【講座】

佛教大学四条センター講座

歴史の群像—京都の近代 内藤湖南	1989年11月16日
歴史研究講座 第3回 辛亥革命と日本	1992年2月5日
第4回 五四運動と日本	1992年3月4日
近代日本人の見たアジア（総合研究所提携講座）	
第5回 中国人留学生と日本の近代	1994年12月16日
土曜講座（大学授業体験講座）	
秘密結社考—近代中国社会を中心として	1998年4月25日
であいシリーズ（浄土宗新聞提携講座）	
であいその225：予告なき出会いの衝撃	2006年12月6日
—歴史の転換期における出会い	
研究室へようこそ	
身近なところから歴史を学ぶ	2010年10月2日

一日中文化交流の一コマ

東アジアにおける日本と中国・朝鮮との文化交流を考える

近代日中文化交流—漢字・漢文と和製漢語 2012年8月10日

近代日本と中国における西洋文化 2013年2月8日

の受容のちがい—文明開化と科学

近代日中文化交流の一コマ—近代知識人 2013年8月2日

が見た明治日本

近代日中関係の一コマ—孫文をめぐる日本人 2013年12月13日

孫文をめぐる日本人—大陸浪人を中心として 2014年6月13日

中国人留日学生の見た近代日本の虚像と実像 2014年12月12日

尼崎市中央公民館講座

清朝の歴史と東アジアの国際関係

第4回 江戸時代の日清関係と清国の社会構造 1998年2月14日

朝日カルチャーセンター芦屋

動乱の中国史—近代中国の夜明けと民衆 (第1回～第10回) 1994年7月～12月

佛教大学教員免許状更新講習

人間力をみがく—予告なき出会いの衝撃：歴史の転換点 2010年11月21日

を探る 2011年6月5日

2012年7月8日

2013年8月9日

【その他】

あるスケッチブックより

『三冢渡河録—宇都宮清吉退休記念文集』名古屋
大学文学部東洋史研究室、1969年3月30日

ある思い出

『以文将意集—波多野善大退休記念文集』名古屋
大学文学部東洋史研究室、1972年3月26日

随想録

『緑溪原道録—谷川教室在金城記』名古屋大学文
学部東洋史研究室、1979年3月31日

学門と私—ルソーの息吹

『佛教大学父兄会報』第27号、1982年3月1日

教師を志す人へ

『佛大学生新聞』第7号、1982年11月17日

キャンパスのもうひとつの顔 人気ゼミ
の登場〈佛教大学文学部清水ゼミ〉
(インタビュー)

『大学受験講座ラジオテキスト』(旺文社) 12月
号、1982年12月1日

体験の青春論：ふりかえって「青春」を
考える—一本との邂逅

佛教大学『グラフィティ'84』、1984年4月

- 〈海外研修記〉中国レポート―研修を終えて
『佛教大学報』第35号、1985年10月23日
- 中国での資料収集を終えて
『常照（佛教大学図書館報）』第27号、1985年11月25日
- 随想
『佛大通信』第253号、1986年10月1日
- 教授紹介（インタビュー）史学科清水稔
『佛大学生新聞』第35号、1988年5月10日
- 胡食・胡曲・胡服
『佛大通信』第278号、通信教育部、1988年11月1日
- 「アジアのなかの日本」研究班：1992年度研究活動を振り返って
『佛教大学総合研究所紀要』創刊号、1994年3月14日
- 〈随筆〉学生相談に寄せて―雑感
佛教大学『学生相談室年報』第3号、1995年2月26日
- 「アジアのなかの日本」研究班：研究活動を振り返って
〈佛教大学総合研究所紀要第2号別冊〉『アジアのなかの日本』、1995年3月14日
- 〈新キャンパス事情〉通信教育部の教育課程（カリキュラム）の改革について
『佛教大学報』第45号、1995年9月15日
- 文学部長就任にあたって
『佛教大学学内報』（以下『学内報』と略す）第278号、1997年4月1日
- ふたたび山へ―岩見・森田両先生をめざして
『思い出の山―岩見宏先生の山行を記念して』第2号、佛教大学山の会、1996年4月1日
- 〈21世紀への展望4〉 展望しえない現実と将来
『学内報』第293号、1998年7月1日
- 文学部長に再任されて
『学内報』第302号、1999年4月1日
- 銀色の道
『法輪』（宗教部選書）第5号、1998年3月14日、洗心アワー講話（1997年5月7日）の収録
- 心―相互理解のむつかしさ
『法輪』（宗教部選書）第6号、1999年3月14日、洗心アワー講話（1998年4月22日）の収録
- 〈巻頭言〉総合研究所のあり方をめぐって
『佛教大学総合研究所報』第17号、1999年12月1日
- 自然のよろこび
『法輪』（宗教部選書）第7号、2000年3月14日、洗心アワー講話（1999年4月21日）の収録
- 学部長からのメッセージ Vol.1 文学部
『ブンダリーカ春号』（大学と企業を結ぶコミュニケーション誌）第23号、2000年5月12日
- 人生行路
『佛大通信』2000年8月号（第419号）、通信教育部、2000年8月1日

- 生命力 『法輪』(宗教部選書)第8号、2001年3月14日、
洗心アワー講話(2000年4月19日)の収録
- 副学長・通信教育部長就任にあたって 『学内報』第326号、2001年4月1日
- 学ぶにあたって―「あそび」のころ 『佛大通信』2001年5月号(第428号)、通信教育部、2001年5月1日
- 通信教育部長就任にあたって 『鷹陵同窓会報』第63号、2001年7月1日
- 自己変革にむけて 『佛大通信』2001年11月号(第434号)、通信教育部、2001年11月1日
- 『二十一世紀の社会福祉をめざして―新しいパラダイムの構築』はしがき 佛教大学社会福祉叢書(ミネルヴァ書房)、通信教育部、2001年12月20日
- 広島縁日会 鷹陵同窓会懇談会を終えて 『鷹陵同窓会報』第64号、2002年1月1日
- 変革の時代にあつて学生に求められるもの 『紫峰』(佛教大学教育後援会報)第91号、2002年1月10日
- 通信教育の新たな地平をめざして 『洛友』第20号、佛教大学学友会、2002年3月1日
- 二十一世紀のめざすもの 『法輪』(宗教部選書)第9号、2002年3月14日、
洗心アワー講話(2001年5月2日)の収録
- 目標の完遂にむけて―初心を大切に 『佛大通信』2002年5月号(第440号)、通信教育部、2002年5月1日
- 『こころの時代―21世紀の仏教と世界平和』挨拶・紹介とあとがき 佛教大学鷹陵文化叢書 別巻(思文閣出版)、通信教育部、2002年10月10日、通信教育課程開設50年記念「鷹陵文化講演会」(2002年8月11日)の記録
- 『共生』発刊の辞、新たな地平にむけて 佛教大学通信教育課程開設50年記念誌『共生』、通信教育部、2002年10月14日
- 〈特別編〉紅葉に燃える京都の秋、枯山水をめぐり、添水に閑寂の音を聴く 『こだわり案内人 私の京都探索』(佛教大学通信教育課程開設50年記念)、通信教育部、2002年10月14日
- 教学組織の変遷 佛教大学開学90周年記念『佛教大学の歩み(1992～2002)』、大学史編纂委員会、2002年10月23日
- 新たな創造に向けて―努力と忍耐力を 『佛大通信』2002年11月号(第446号)、通信教育部、2002年11月1日
- 〈巻頭言〉総合研究所あれこれ 『佛教大学総合研究所報』第23号、2002年12月1日
- 〈年頭所感〉新たな飛翔をめざして 『鷹陵同窓会報』第66号、2003年1月1日

- 大学の新たな飛翔をめざして 『紫峰』(佛教大学教育後援会報)第96号、2003年
1月10日
- パーソナリティと歴史 『法輪』(宗教部選書)第10号、2003年3月14日、
洗心アワー講話(2002年4月24日)の収録
- 通信教育課程開設50年を迎えて 『洛友』第21号、佛教大学学友会、2003年3月1
日
- 宗本正記『安芸の国棲真寺―歴史と文化
財』刊行によせて 中国新聞社事業出版センター、2003年3月11日
- コラム くうねり) 『ひゅーまんらいと』(部落解放・人権政策確立
要求京都府実行委員会)第209号、2003年7
月1日
- 平祐史教授の古稀を祝して 『鷹陵史学』第29号(平祐史教授古稀記念号)、
2003年9月30日
- 学部学科再編に伴う広報と記念行事につ
いて 『学内報』第356号、2003年10月1日
- 〈人権シリーズ第106号〉差異と差別 『学内報』第481号、2004年3月1日、佛教大学
『ひとのみち―人権学習 記録と資料(2003
年度版)』(人権教育委員会、2004年3月31
日)に転載
- 養生と自覚 『法輪』(宗教部選書)第10号、2004年3月14日、
洗心アワー講話(2003年4月16日)の収録
- 2003年度版『ひとのみち』刊行にあたっ
て／人権について 佛教大学『ひとのみち―人権学習 記録と資料
(2003年度版)』(人権教育委員会)、2004年
3月31日
- 大学の役割が変化するなかで 『紫峰』(佛教大学教育後援会報)第99号、2004
年8月10日
- 〈記念講演〉ちがいと違いを知る一学び
を楽しく豊かにするために 『洛友』第23号、佛教大学学友会、2005年3月1
日、学友会「夏の祭典(2004年8月7日)」
の記念講演の記録
- 〈人権シリーズ第117号〉人権の学習と
教育 『学内報』第373号、2005年3月1日、佛教大学
『ひとのみち―人権学習 記録と資料(2004
年度版)』(人権教育委員会、2005年3月31
日)に転載
- 2004年度版『ひとのみち』刊行によせて
一人権の文化を育てる 佛教大学『ひとのみち―人権学習 記録と資料
(2004年度版)』(人権教育委員会)、2005年
3月31日

- 共生・共死と文化のちがひ 『法輪』(宗教部選書)第12号、2005年3月14日、
洗心アワー講話(2004年4月28日)の収録
- 副学長の再任にあたって 『学内報』第374号、2005年4月1日
- 環境の変化のなかで通信教育がめざすもの 『鷹陵同窓会報』第72号、2006年1月1日
- 新春特別対談 人は、何のために学ぶのか(加藤周一&清水稔) 『佛大通信』2006年1月号(第484号)、通信教育部、2006年1月1日
- 〈B. U. L. A. ニュース〉第25回 B. U. L. A. 集中講座の視察を終えて 『学内報』第386号、2006年4月1日
- FD活動雑感 『FD Review』第1号(教授法開発室)、2006年9月20日
- 思うがままに一仏縁 『法輪』(宗教部選書)第13号、2006年3月14日、
洗心アワー講話(2005年4月20日)の収録
- 2006年度授業評価アンケートに関する報告書 『教授法開発室だより』第15号(教授法開発室)、
2007年4月1日、『FD Review』第2号(教授法開発室、2007年10月1日)に転載
- 本学における国際交流の基本的な指針と目標について(榎本福寿&清水稔) 『学内報』第407号、2008年1月1日
- 相互理解の難しさと留学生の役割について 『友好の輪』(国際交流研修室)、2008年3月13日
- 〈追悼〉前国際交流研修室長西村隆先生を偲んで 『友好の輪』同上
- 〈B. U. L. A. ニュース〉デザートカレッジとの覚書の調印を終えて 『学内報』第412号、2008年6月1日
- 言葉の危うさ 『法輪』(宗教教育センター選書)第15号、2008年3月14日、洗心アワー講話(2007年12月19日)の収録
- 副学長の就任にあたって 『学内報』第422号、2009年4月1日
- 〈学長室だより2〉コミュニケーション 『学内報』第423号、2009年5月1日
- 〈学長室だより5〉コミュニケーション(2) ー現実に向ける眼差し 『学内報』第426号、2009年8月1日
- 佛教大学の目指す「人間力を培う」教育とは 『紫峰』(佛教大学教育後援会報)第114号、2009年8月1日
- 〈鼎談〉伝統を礎に新たなステージへー佛教大学の現状と将来像 山極伸之&浜岡政好&清水稔 『佛教大学報』第59号、2009年10月1日

- 〈学長室だより8〉コミュニケーション(3)
—相手の話に耳を傾ける (聴く) 『学内報』第429号、2009年11月1日
- 〈学長室だより11〉コミュニケーション
(4) 一心の距離感を縮めるために 『学内報』第432号、2010年2月1日
- 〈人権シリーズ第177号〉雑感 『学内報』第443号、2010年3月1日、佛教大学
『ひとのみち—人権学習の記録⑮ (2009年度版)』(人権教育委員会、2010年3月31日)に
転載
- コラム くうねり 『ひゅーまんらいと』(部落解放・人権政策確立
要求京都府実行委員会)第289号、2010年3
月1日
- 共生を支えるもの—共生と共死 『法輪』(宗教教育センター選書)第17号、2010
年3月14日、聖日講話Ⅲ (2009年6月3日)
の収録
- 船木さんとの出会い—その山男ぶりと最
期の情景 『思い出の山—船木満洲夫先生を悼む』第3号、
佛教大学山の会、2010年3月31日
- 〈学長室だより2〉初年次教育としての入
門ゼミ—形式から実質へ 『学内報』第435号、2010年5月1日
- F Dを推進・支援するトップマネジメン
トの役割 大学コンソーシアム京都「2009年度第15回F Dフ
ォーラム報告集」、2010年6月
- 〈学長室だより5〉F D義務化とどうむき
あうのか 『学内報』第438号、2010年8月1日
- 〈学長室だより8〉キャリア教育の充実に
向けて 『学内報』第441号、2010年11月1日
- 〈学長室だより11〉雑感—2年間を振り返
って 『学内報』第444号、2011年2月1日
- 〈人権シリーズ第189号〉言葉の誤解や意
外な意味について 『学内報』第445号、2011年3月1日、佛教大学
『ひとのみち—人権学習の記録⑯ (2010年度版)』(人権教育委員会、2011年3月31日)に
転載
- 新しい日本語の誕生—翻訳文化と造語 『法輪』(宗教教育センター選書)第18号、2011
年3月14日、聖日講話Ⅳ (2010年9月24日)
の収録
- 「コミュニティ」(縁プログラム)のた
めの新たな地平を切り拓くために 『文部科学省平成19年度採択学生支援G P 佛教大
学事業報告書—新たな社会的ニーズに対応し
た学生支援プログラム縁 コミュニティによ
り離脱者ゼロ計画』(学術支援課)、2011年3
月

- 〈学長室だより2〉先入観や思い込みによる誤謬 『学内報』第447号、2011年5月1日
- 〈学長室だより5〉伝統工法「たたき」に見る土のぬくもり 『学内報』第450号、2011年8月1日
- 〈学長室だより8〉のんびりと生きること 『学内報』第453号、2011年11月1日
- 〈学長室だより11〉読み・書き・そろばん 四条センターの今後を考える 『学内報』第456号、2012年2月1日
- 『学内報』第455号、2012年1月1日
- 佛教大学の現況とめざす教育について 『紫峰』(佛教大学教育後援会報)第119号、2012年1月1日
- 〈四条センター講座〉受講生のみなさまへ／四条センターの原点をみつめて／受講生のみなさまへ／受講生のみなさまと新たな飛翔を願って 『四条センター講座案内』2011年度春期号(2011年4月1日)・夏期号(6月1日)・秋期号(10月1日)・冬期号(2012年1月1日)
- 今あらためて健康について考える 『法輪』(宗教教育センター選書)第19号、2012年3月14日、聖日講話Ⅴ(2011年10月25日)の収録
- 〈洛中楽話〉土をつくることは命の根源をつくることだと考えます(インタビュー) 『四条センター講座案内』2012年度夏期号、2012年6月1日
- 入学機構長就任にあたって 『学内報』第460号、2012年6月1日
- 〈対談〉母校開学百周年に寄せて一良き思い出とこれからの母校「佛大」へ 相原佳代子&横井香奈&馬場陽介&清水稔 『紫野』(佛教大学同窓会・鷹陵同窓会)第85号、2012年7月25日
- 〈人権シリーズ第210号〉豊かな人間関係を構築するために一まずは相手の話を聴くことから 『学内報』第466号、2012年12月1日、佛教大学『ひとのみち—人権学習の記録⑩(2012年度版)』(人権教育センター、2013年8月30日)に転載
- ホームカミングデーの開催を終えて—新たな百年にむけて 『紫野』(佛教大学同窓会・鷹陵同窓会)第86号、2013年1月1日
- 失われた言葉 『法輪』(宗教教育センター選書)第20号、2013年3月14日、聖日講話Ⅲ(2012年6月25日)の収録
- ことばのにおい 『法輪』同上、聖日講話Ⅴ(2011年10月25日)の収録

お元気ですか？先生から同窓生の皆さんへ：子孫の代まで良き大学で、学んだことを誇りに（インタビュー）	『紫野』（佛教大学同窓会・鷹陵同窓会）第87号、2013年7月25日
〈特集〉京都まちあるき：四条西洞院～木版印刷を通して「想い」を伝える 竹笹堂竹中建司&清水稔（インタビュー）	『佛大通信』2013年8月号（第575号）、通信教育部、2013年8月1日
〈人権シリーズ第222号〉魅力ある聴き手に	『学内報』第478号、2013年12月1日、佛教大学『ひとのみち—人権学習の記録⑱』（人権教育センター、2014年6月30日）に転載
人権啓発の推進について（緒方由紀&清水稔）	『学内報』第478号、2013年12月1日
雑感一点検・評価を基礎に考える	『学内報』第481号、2014年3月1日
中井真孝先生古稀・出版祝賀会の挨拶および経歴紹介	『佛教大学歴史学部論集』第4号（中井真孝先生古稀記念号）、2014年3月1日
読心力・聴心	『法輪』（宗教教育センター選書）第21号、2014年3月14日、聖日講話Ⅲ（2013年6月25日）の収録
平和への祈り	『法輪』同上、聖日講話Ⅲ（2013年11月25日）の収録
刊行によせて一憲法の基本理念と人権	佛教大学『ひとのみち—人権学習の記録⑱』（人権教育センター）、2014年6月30日
ホームカミングデーの新たなステージにむけて	『紫野』（佛教大学同窓会・鷹陵同窓会）第90号、2015年1月1日
蚯蚓の戯言：教員生活をふりかえって	『佛教大学歴史学部論集』第5号（清水稔先生退職記念号）、2015年3月1日
清水稔先生略年譜・著作目録	同上